

## 病のとき 旅立つとき 送るとき

「安心しなさい」 (イエスのことば マタイ14・27)

### 司祭の病者訪問

司祭、または、信徒による訪問グループ「ぶどうの会」の訪問を受け、共に祈ることによって、主の恵みを受けることができます。

カトリック教会の信徒であることを、家族や親族、施設のスタッフ等に知ってもらい、司祭や「ぶどうの会」のメンバーが訪問することについて周りの方の理解を得ておいてください。

### 病者の塗油の秘跡

教会は病人をいやすという使命をキリストから受けています。司祭は「病者の塗油の秘跡」を授けて、主キリストが聖霊の恵みにより病人を罪から解放して救い、起き上がらせてくださるように祈ります。

信徒が病気や高齢のため困難にあるとき、手術を受けるとき、臨終にあるときなどに、この秘跡を受けることができます。病状により「ゆるしの秘跡」を受けられない場合でも、塗油によって罪のゆるしが与えられます。「病者の塗油の秘跡」は、繰り返し受けることができます。

### 重篤化する前に、司祭にご連絡ください

司祭は病者との関わりを大切にしています。しばらくの間、教会から離れていらっしゃる方でも、遠慮なくご連絡ください。

できるだけ意識がある時に、司祭から「ゆるしの秘跡」「病者の塗油」「聖体の秘跡」を受けるようにいたしましょう。また、重篤になられた場合には、速やかに司祭に連絡し、秘跡を受けられることをお勧めします。

### 緊急洗礼

病状の進行した方が、以前から洗礼を望まれていたのであれば、受洗のための準備期間を経ずに洗礼を受けることができます。司祭に連絡し、指示に従ってください。

## **帰天の際の連絡**

教会（0798-51-0176）にご連絡ください。

連絡がとれない場合は、先に葬儀社（後述）に依頼し、時間帯を見計らって教会に再度ご連絡ください。

病院で亡くなられた場合、ご遺体の搬送について、病院が業者を紹介することがありますが、依頼する葬儀社にお任せになることをお勧めします。

## **葬儀の日程**

通夜・葬儀の日時は、ご遺族のご希望を司祭と葬儀社に知らせ、三者の相談の後、葬儀社が斎場の利用時間を確認して決まります。通夜を行わず、葬儀ミサと告別式のみでお送りすることもできます。

## **教会施設の利用**

ご遺体を病院などから直接教会に運び、聖堂に安置することもできます。また、フランシス館2階の和室も安置所として利用できます。和室に宿泊することもできます。ご親族の休憩場所等の利用希望があれば、司祭または事務所にご相談ください。

## **葬送への信徒の参加と奉仕**

教会の信徒は神様を頭とした家族です。亡くなられた方の兄弟姉妹として祭儀に集まり、祈りをささげます。

信徒による葬儀奉仕グループ「オリーブ会」が、会葬者の受付や祭儀の奉仕に当たり、また聖歌隊も歌唱で祈りをささげます。親族・関係者が受付をされる場合はお知らせください。

## **葬儀社**

ご遺族の希望に従いますが、カトリック葬儀専門の葬儀社をお勧めします。また、葬儀会館など教会外の施設を利用される場合は、司祭と奉仕者が出向いて儀式を執り行います。

## レクイエム会

箕面市小野原東3丁目5-23

電話番号 0727-28-9883 (24時間対応)

(他社の互助会などに加入されている場合もご相談ください)

## 献金

献金は、司祭・信徒会へのお気持ちを表す意向としてお受けします。

## 墓所について

教会の聖堂奥に、憩堂（納骨室）があります。また、西宮市立霊園甲山墓園に仁川教会共同墓地（合葬墓）があります。使用を希望される方は所定の申し込みが必要ですので、事務所にお問い合わせください。なお、甲山墓園には大阪教区の共同墓地もあります。

墓所に納骨の際は、司祭が「納骨の祈り」を捧げて納骨しますので、司祭または事務所にお申し出ください。

## 命日祭

カトリック教会には命日の決まりはありませんが、慣習に従った日にちで追悼ミサをささげることができます。司祭に依頼し、お身内・関係者だけでのミサ、あるいは、日曜日などのミサを、亡くなられた方のための意向でささげることができます。聖堂 ロビーに「ミサ依頼」の封筒がありますので必要事項をご記入のうえ、司祭または事務所にお申し込みください。

また、カトリック教会の「死者の月」である11月、原則として第1日曜日は毎年「仁川教会合同追悼ミサ」が行われます。 家族、知人、先祖の永遠の安息のために祈ります。事前に「ミサ依頼」の封筒をご利用のうえ、司祭または事務所にお申し込みください。ミサ後に憩堂（納骨室）と甲山墓園に合同墓参します。その他、ご質問は遠慮なく、司祭または事務所にお尋ねください。